

3 ゲストプレゼンテーション

(1) 宮田 麻子 氏（豊島区「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長）

最初に、豊島区「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長の宮田麻子さんに「小さな公園から、まちを変える。」と題して、現在取り組んでいる小規模公園活用の背景や活動内容をご紹介いただいた。



(宮田 麻子氏／豊島区「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室長)

(宮田氏プレゼンテーション要旨)

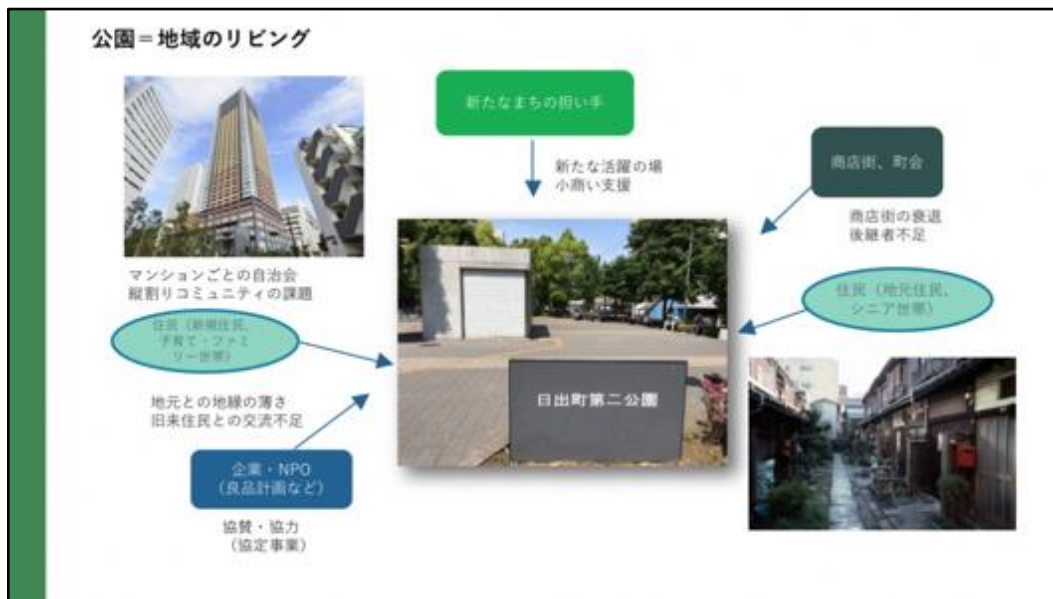
①小さな公園を、街の課題解決につなげる

公園の活用によって街の魅力を高めるというお話だったと思いますが、どちらかというと豊島区は公園ありきではなく、さまざまな街の課題から公園というものがなにか解決の糸口になるんじゃないか、というアプローチになっています。

豊島区が掲げている「わたしらしく、暮らせるまち。」というコンセプトは、ひとりひとりの多様なライフスタイルを大切にし、女性に視点をあわせて街を見渡すことで、子どもや年配者、外国人など全ての人が住みやすく、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指すものです。

豊島区の全164公園の7割が小規模公園で、平均面積も1300m²と非常に小さいです。こういった公園をどうにかしていきたいというお話ですが、これは今どこも全国共通してい

ることだと思えます。また、豊島区は小さいのに230以上の町会があり、その担い手がもう50歳で若手と言われるくらい。入会率もどんどんさがっていて新しい担い手との関係構築というところも難しくなっています。そんな中で、小さな公園を地域に開いて、地域と共にコミュニティの場に育てるといったことを掲げています。



②組織横断による小規模公園活用プロジェクト

小規模公園活用プロジェクトを昨年からパイロット的に開始し、今年度は7公園で取り組んでいます。その7公園を選ぶためにまず区内の公園を全部、足で回って調査したんです。調査項目として公園そのもののスペックに加えて活用に影響するであろう評価項目を点数化しました。例えば地域課題や子供の利用状況であるとか、公園だけでなく周辺環境が非常に大事で、あとは区画整理計画や、地域にどんな担い手がいるかなど。古くからの町会の方、新しく住み始めた方との交流や関係構築が一番大変なところですね。

ちなみに私は公園課の人間ではないんですけども、従来の公園整備や維持管理の枠を超えて部局横断の組織メンバーが集まってプロジェクトチームで進めています。

活用モデル公園選出

公園実態調査

【対象公園】

公園86カ所、区民の森2カ所、児童遊園66カ所、仮児童遊園8カ所、その他1カ所、日本庭園1カ所（計164カ所）

【調査項目】

遊具、ファニチャー、その他設備、公園の状態、公園出入口、公園外周、利用状況、周辺環境

調査結果に基づく評価およびモデル公園の選定

【モデル公園選定方法】

活用に影響すると想定される評価項目を設定、点数化を行い、モデル公園を選定。

【評価項目】

1. 地域課題の有無（新旧住民の分断コミュニティなど）	8. 商店街等周辺店舗
2. 子どもの利用状況・園庭利用状況	9. 花壇・土・植栽の状況
3. 近隣施設（保育園・小学校）	10. ベンチの設置状況
4. 近隣施設（区民ひろば等地域施設）	11. 遊具の設置状況（有無・種類）
5. 区画整理・都市計画道路の整備状況	12. 土地面積
6. 地域の担い手（既存/新規）	13. トイレ（アート）状態
7. 近隣施設（スーパー・コンビニ）	

③今あるものを活かし、〇〇できる公園へ

小規模公園活用プロジェクトでは、〇〇できる公園にしようということを掲げています。禁止事項の看板が増えて、結局この公園で何ができるのだろうという状態に今なっています。できることをちょっとずつ地域の方と増やしながらか、〇〇できる公園にしていけないか、3つのポイントを掲げてやっています。

1. 公園の特性と立地を活かし、地域のための場になるように見直す
2. 今あるものを活かし、できることを見出す
3. 活用の実験と実践をくりかえす

井戸端会議を開き、公園のことを公園の中で話しています。ただの会議だとおもしろくないので、コーヒーを振舞ったり。そうすることで、ただ通り過ぎるだけだったちょっとさみしい公園で、近隣のお年寄りがお茶を飲みながら談笑したりするような風景を少しずつ作り出していっています。また、公園の利用者に公園で何ができたらわくわくしますか？どんな場所になったらわくわくしますか？という投票も行っています。

地域の小さな公園を住民と一緒に育てていって、愛着のある暮らしによってまちづくりをしていきたいというふうに思っています。これは時間のかかることで、まだまだスタートラインに立ったばかりですが、こういった取り組みを豊島区では始めていっています。

公園を育てる井戸端会議

「ともに育つ公園」への第一歩として、近隣の商店・学生・住民と一緒に公園のありかたについて考える井戸端会議を開催



「公園でどう過ごしたい?投票」

公園で何ができれば、どんな場所になったらわくわくするのか
公園利用者による投票を実施

